

当日の標、啓たる八時同労働制の確立、且最低賃金の制定、自由労働者の傷害保償、失業労働者の防正と大書したる流旗、及びソーデーと大書したる流旗、四本を押し立てし本山支部より、窪平合地に集る集合者は、労働歌、赤歌を各自個々に言唱し、氣勢を揚ぐるかの如き態度に出じ、是より加者の勸誘に敢かめたるし、二人三人と、時時に集合する有様、是れ全く、莫氣揚ちず、十時約七十名、會旗、流旗を先双足に、二列縦隊、二十名の敬言、口々に守られ、時折労働歌を唱之間、藤より、通洞支部、同郷道、を靜肅裡に行進し、通洞支部に到着したるは、午之が十一時約一時、同の後なり、通洞支部に、こ此

表に、是より、集したる約三十名の若と一團となりし、も予費外、少なき、是より、加者のため、今し、氣勢を揚ち、司會者、の挨拶、撲し、無事に、是より、倍々、分かれ、各自、晝食を取、等、全く、秩序、無く、一時は、これに、し、解散したるかの感、を、抱かしむ、休憩、する事、一時、同餘、十二時、四十分、着の、應援者、を、迎ふ、可く、通洞支部、高、前に、二列に、窪平合したる、時は、約、百名、麻生、業の、盡力、により、し、示威、行列と、し、り、行列、を作り、通洞、停車場、に向、此、表に、侍つこと、約、三十分、予定、の、汽車、は、到着、したる、も、應援者、は、一人、も、来、た、ず、大、いに、呆、然、たり、益々、氣勢、の、別、れ、る、も、廣く、麻生、の、哭、声、を、し、應援者、の、来、た、る、か、如く、襟、孔、の、幕、も、之、留、し、一時、二列、縦隊、にて、狂、踏の、道、筋、を、間